

私は此學校は初めてでエー来るのは初めてだけれども、御依頼を受けたのは決して初めてではありません。二三年前、田中さんから頼まれたのです。その頃頼みに来て下さった方はもう御卒業なさったでせう。それ以来十数回の御依頼を受けましたが、みんな御断りしました。断るのが面白いからではなく、已むを得ないからで、此已むを得ない事が度重なって御氣の毒なので、その結果今日やって来ました。言はゞ根くらべて根がつきて出て来たやうなしまつであります。だから面白い御話も出来兼ねます。今からとにかく一時間ばかり御話します。それ故、題なんかありません。

私は専門があなたの方とは全然違つてゐます。こんな機會でなければ顔を合はすことはありませんが、是でも私は工業の部門に屬する専門家にならうとした事がありました。私は建築家にならうと思つたのです。何故つて云ふ様な問題ではない。けれども序だから話します。

まだ子供のとき、財産がなかつたので、一人で食はなければならぬと云ふ事は知つてゐました。忙がしくなく時間づくめでなくて飯が食へると云ふ事について非常に考へました。然し立派な技術を持つてさへゐれば、變人でも頑固でも人が頼むだらうと思ひました。

佐々木東洋と云ふ醫者があります。此醫者が大へんな變人で、患者をまるで玩具か人形の様に扱ふ、愛嬌のない人です。夫ではやらないかと云へば不思議な程はやつて、門前市をなす有様です。あんな無愛想な人があれ丈はやるのは矢張り技術があるからだと思ひました。夫だから建築家になつたら、私も門前市をなすだらうと思ひました。丁度夫は高等學校時分の事で、親友に米山保三郎と云ふ人があつて、此人は夭折しましたが、此人が私に説諭しました。セント・ポールの様な家は我國にははやらない。下らない家を建てるより文學者になれと云ひました。當人が文學者になれと云つたのはよほどの自信があつたからでせう。私は夫で建築家になる事をふつり思ひ止まりました。私の考は金をとつて、門前市をなして、頑固で、變人で、と云ふのでしたけれども、米山は私よりは大變えらい様な氣がした。二人くらべると私が如何にも小ぼけな様に思はれたので、今迄の考を止めてしまったのです。

そして文學者になりました。その結果は分りません。恐らく死ぬまで分らないでせう。夫で私とあなたの方とは専門が違ふ事になつたのですが、此會は文藝の會で、ベルグソンなども出る様ですから、多少は共通してゐる處もある様にも思はれます。夫でまあ私も御話をするといふ様な譯であります。(以下略)

大正三年一月十七日東京高等工業高校に於て